

緑のセンターだより

NO. 162 平成 24 年 9 月 1 日発行

発行元：（財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

クリ (シバグリ・チョウセングリ)

ブナ科クリ属
Castanea crenata

クリは高さが 15～20m、太さ 60～100cm にもなるブナ科クリ属の落葉広葉樹。葉は長さ 7～15cm、幅 3～4cm、互生し有柄（柄の長さ 0.5～1.5cm）、単葉で鋸歯縁があり、16～23 対の側脈が平行、長楕円で先は尖り、基部は円形あるいは心形、表面は濃緑色で光沢があります。葉脈にそって毛がある葉と無い葉があります。裏面の毛は密から粗の状態まで様々な葉があります。

一本の木に雌花と雄花が付き、雌花は雄花の基部か葉の基部につき、一つの苞に 3 個の雌花が咲きます。雄花は長さ 14～24cm の尾状で、花色はいずれも淡黄白色です。花時期は 6～7 月。

果実（通常「イガ」と呼称、正式名称「殻斗（カクト）」）は、球状で 1cm 程度の棘が密に生え、中に 1～3 個の種子（通常「クリ」、「堅果」）が入っています。9～10 月頃に成熟。堅果の大きさには変異があり、栽培では品種ごとに葉の形・大きさなども異なります。

北半球では 12 種が知られますが、身近なところで見られる種は和名「クリ」で日本（北海道南西部～九州・四国）、朝鮮半島に分布します。特に野生のものはシバグリとも呼ばれ、堅果が小さく、栽培品種の基本種となっています。栽培品種で有名なものには「丹波栗」、「丹沢」などがあります。



焼き栗の「天津甘栗」はチュウゴクリ、アマグリ、シナグリなどと呼ばれ、原産は中国、学名は *C. mollissima* で「クリ」（日本在来）に似ますが、果実は小さく、甘みに富み、渋皮が剥がれやすく品質がよいのが特徴です。

ヨーロッパで、お菓子のマロングラッセに使われる栗は、学名 *C. sativa* で、日本ではヨーロッパグリと呼ばれ、樹高は 30m になり、堅果は粉質で品質がよく、葉も日本の栗より大きくなります。

日本の食用栗生産ピークは 1979 年の 65300t で、2010 年は生産 23500t に減少、不足の 11700t が輸入され、この内、中国から 8150t 余りが輸入されています。

縄文時代、栄えた三内丸山遺跡の櫓は、栗材が用いられ、直径 1m 以上の栗の樹が 6 本使われています。地中に埋まっていた部分は、焼いて表面を炭状に防腐加工されていました。現在の櫓は日本産で大きな栗の木が無くシベリア産を使用しています。

また、三内丸山遺跡では栗の栽培が確認され、栗を始め木の実を貯蔵する穴（直径 3m、高さ 2m フラスコ状の穴）も見つかり、当時、栗の実が現代の米・麦と同じ存在だったようで、重要な食物の一つだったと考えられています。

このほか、材木としての利用記録は「日本三代実録」に「貞観 8 年（886 年）正月 20 日から、常陸国鹿島神宮は 20 年に一度の修造をしている。伏見の宮造りには栗材を多く用いている」と記載があり、建築用材として古くから使われていたようです。近年でも耐朽性、湿気に耐えるので土台として使われるほか、家具、装飾材などとして使われています。また、栗の事が日本最初に記されたのは、古事記に景行天皇（71～130 年）の時代に記されています。

(M. M)

9月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00		
☆豊平公園	811-9370	月曜以外毎日 (月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
☆百合が原公園	772-3511	木曜、日曜
☆平岡樹芸センター	883-2891	水曜、土曜

※緑の相談は9月1日(土)より通常通りの受付に変更となります。

ご注意ください

豊平公園緑のセンターは休館日以外毎日受付

平岡樹芸センターは水・土・百合が原公園は木・日受付

◆秋に植え替える宿根草

宿根草は毎年手入れをしなくても良く咲いてくれますが、3～5年も植えっぱなしでは株が密生したり肥大して中央の部分が枯れ込み、ドーナツ現象になります。株が老化状態では花も咲きづらく、咲いても小さく貧弱になってしまいます。この兆候が見られたら直ちに植え替えや株分けをして株の再生を図る必要があります。ここでは、9月から10月に植え替える宿根草を取り上げてみます。

植え替えの目安

通常3～4年毎に行い、①生育が悪くなった ②花付きが悪い ③株の生育が不揃いになった ④枯れ込みが目立つ、などがみとめられたら株分けします。

9月中に植え替える種類の例

アジュガ、アスチルベ、アマドコロ、オミナエシ、ギボウシ、キョウガノコ、クサキョウチクトウ、ケマンソウ、シオン、シャクヤク、トリトマ、ノコギリソウ、ヘメロカリス、ホタルブクロ、ヤグルマギク、ルドベキア、ルリタマアザミなど

10月に植え替える種類の例

キキョウ、スズラン、シャスターデージー、宿根カスミソウ、トリカブト、フクジュソウ、フロックス、リンドウなど

植え替えの準備

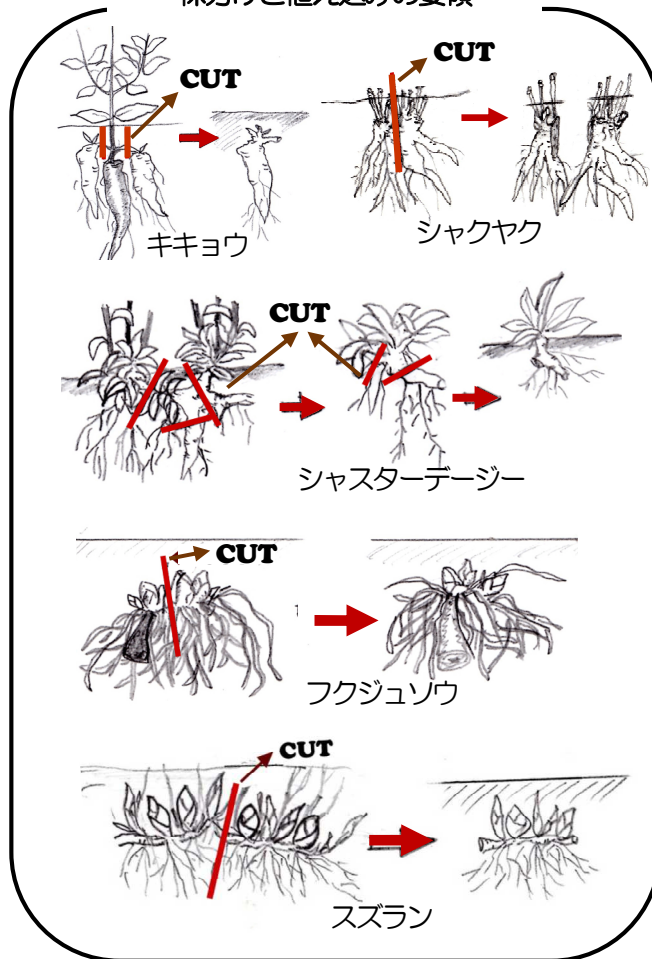
植え込み予定の場所にはあらかじめ、堆肥、石灰（必要に応じ）、油粕など有機質肥料を施し耕起（30 cmくらい）しておきます。2週間から一ヶ月前に準備できれば理想的です。

元肥（植え込み前）の目安と施肥（春）

- ・元肥として…堆肥（牛糞、馬糞、バーク堆肥など）
1㎡あたり2～3 kg、油粕 250g、有機石灰 200g
- ・春の施肥…化成肥料（例 6:6:7 150g/㎡）

（参考：実際花卉園芸《切り花Ⅰ》地球出版）

株分けと植え込みの要領



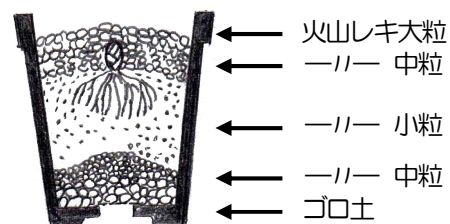
◆コマクサの植え替えとその後の管理

1. 栽培のポイント

自生地では、他の植物がなく、水はけのよい、有機質のない所に生育しているので、深鉢で、水はけがよく、風通しのよい日当たりで育てます。肥料を好むので、肥培します。

2. 植え替え

植え替えは2～3年ごとに、秋（9月中）に行いますが、早春でもよいでしょう。使用する鉢は深鉢とし、元の鉢より一回り大きいものを



コマクサの植え方

用土は火山礫単用とする。
芽際まで植え、5～6mm
の礫で芽を覆う。

使います。根は古根や傷んだ根を取り除き、10cmほど残して切り詰め、新根の発生を促します。

用土は、火山礫単用とします。鉢底用ゴロ土をやや中高に入れ、5～6mmの礫を適宜入れ、2～4mmの礫で根際まで植え込みます。更に、芽がかくれるくらいに、5～6mmの礫を乗せ、更に、10mm位の礫を二並べします。

3. 植え替え後の管理

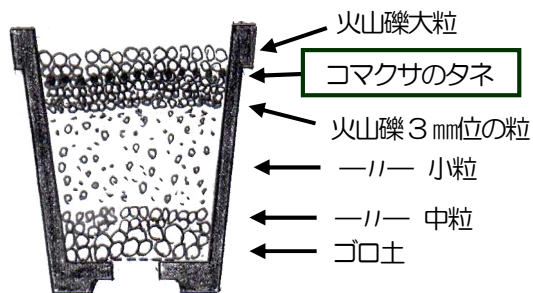
置き場所は、日当たりと風通しの良い所にします。水やりは1日1回十分に与えます。肥料は、液体肥料の2000～3000倍液を与えます。

越冬は雪の下で行います。（夏の間は、できれば50%遮光が理想的です。5月～7月は、発酵油粕を置き肥をします。）

4. 殖やし方

株分けもできますが、実生で、丈夫な苗を育てることができます。

用土は、小粒の火山礫単用で、表面には5～10mmの礫をふた並べしたものに、採り播きします。かん水し、日当たりで用土を乾燥させない管理をします。翌春発芽しますので、適宜ポット上げをします。



コマクサの実生
火山礫単用で採り播きする。

◆枝は正しい位置で切りましょう

樹木が腐れを起こす原因は何かといえ、傷口から腐朽菌が進入するからです。庭木の場合、不適切な剪定によるものがほとんどで、正しい位置で剪定すれば切り口は巻き込まれ、菌の進入を防ぐことができます。

理想的な剪定法

庭木の枝の付け根をじっくり見て下さい。幹と枝の間に皮が「しわ」のようになっているのが見られます（図1-D）。また枝の付け根にはわずかな盛り上がり（枝コブ）があります（図1-C）。

この「しわ」と「盛り上がり」を傷つけないで、出来るだけ接近したライン（図1のA→Bに向かって）で切り落とすのが理想です。切り口は滑らかにし、殺菌癒合剤を塗ります。

正しい位置で剪定すると、巻き込みは切り口の全周から始まり、閉塞され、腐れを防ぐことができます。

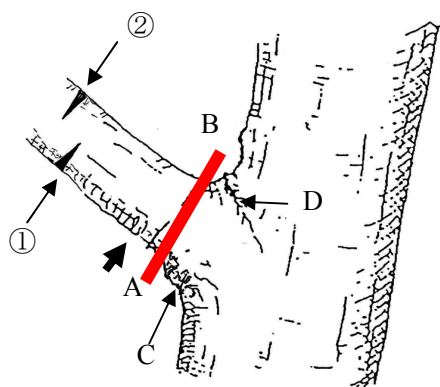


図1

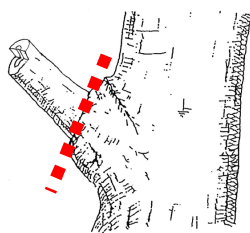


図2

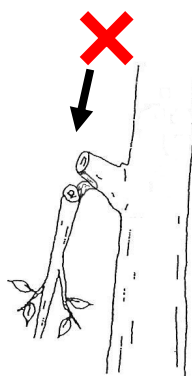


図3-1

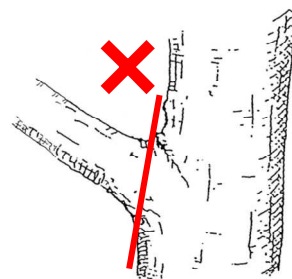


図3-2

切り落とす枝が太い時や枝葉が多い場合は、一旦枝先を切り落とします。その時、幹より20～30cm程枝を残して枝の下から切れ目を入れ（図1-①）、5cm程先端側の上側から切落します（図1-②）。その後、上記の理想的なラインで切り落とすようにすると樹の皮がむけることなく切り落とすことができます（図2）。

枝の下面に切り込みを入れずに切ってしまうと枝の重みで枝下の皮がむけ、幹にまで傷がついてしまい腐れの原因になるので注意しましょう（図3-1）。また、従来良しとされていた枝を幹の付け根ぎりぎりに切ることも切り口が塞がらず、腐れの原因になりますので注意しましょう。

（参考：日本樹木医会北海道支部）



9月～10月の催しのお知らせ



豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

平成24年9月1日(土)より豊平公園緑のセンターは通常通り開館いたします。

緑の相談、テニスコートのお申し込み・支払い等も緑のセンターで受付します。

また、9月1日以降の百合が原公園・平岡樹芸センターの緑の相談日は通常通り各週2日となります。

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
あけび・藤作品展-自然からの贈り物-	9月11日(火)～9月17日(月祝)		あけびつる工房らせん	入場無料
きのこ展	9月25日(火)～9月26日(水)		藻岩山きのこ観察会	"
盆栽展	9月28日(金)～9月30日(日)		札幌盆栽会	"
セントポーリア展	10月2日(火)～10月8日(月祝)		北海道セントポーリア愛好会	"
ミニ盆栽と山草展	10月6日(土)～10月8日(月祝)		札幌草樹会	"
さつき秋季展	10月10日(水)～10月14日(日)		札幌さつき会	"
園芸教室・自然教室				
鉢花・草花・球根類の秋管理	9月15日(土)	13:30～	8/11(土)～	無料
きのこの見分け方	9月25日(火)	13:30～	9/11(火)～	"
秋を楽しむミニ盆栽を作ろう	9月30日(日)	10:00～	"	3,000円
セントポーリアの育て方	10月6日(土)	13:30～	"	無料
クラフト教室				
あけびミニかごづくり無料体験	9月12日(水)	13:00～	先着・当日受付	無料
ローズマリーとあけびのハーブトレイ	9月26日(水)	10:00～	9/11(火)～	2,000円

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・クラフト講習・実践講座!				
ダリアの掘り上げと貯蔵	9月22日(土)	10:30～	9/11(火)～	130円
洋ランの育て方	9月29日(土)	13:00～	"	"
ホップとあけびのつりかご	10月6日(土)	10:30～	"	2,000円
バラの冬囲い	10月7日(土)	13:30～	"	130円
展示会				
ダリア展	9月11日(火)～9月17日(月祝)		直接会場へ	温室入館料130円
盆栽・オモト展	9月21日(金)～9月23日(日)		"	"
秋の洋ラン展	9月25日(火)～9月30日(日)		"	"
イベント				
秋の百合が原コンサート	9月22日(土)13:30～14:30		当日直接会場(芝生広場)へ	観覧無料

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891 <http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
庭木の手入れ⑧落葉樹を小さくする	9月23日(日)	10:00～ 13:30～	9/11(火)～ "	300円 "
庭木の手入れ⑨樹木の冬囲い(低木)	9月30日(日)	10:00～	"	"
庭木の手入れ⑩樹木の冬囲い(高木)	9月30日(日)	13:30～	"	"
果樹の整枝剪定	10月14日(日)	10:00～ 13:30～	" "	" "
アレンジ講習				
秋のリースアレンジメント	9月20日(木)	13:00～	9/11(火)～	3,000円

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先	
子りす工房～おとなの日 「森の織物」	9月13日(日) 10:00～、13:30～	要申込: 500円	西岡公園	582-0050
子りす工房～子どもの日 「森のおりもの」	9月23日(日) 10:00～、13:30～	要申込: 300円		
秋の森たんけんたい	9月15日(土)10:00～	直接会場へ:100円	平岡公園	881-7924
コスモスフェスタ	9月8日(土)～10月8日(月祝)	申込イベント有 駐車料金有 入園料有	滝野すずらん 丘陵公園	592-3333
さっぽろサケフェスタ	9月17日(月祝)10:00～	直接会場へ	さけ科学館	582-7555